

聖教ワイド文庫

池田大作

法華經の智慧

3

二十一世紀の宗教を語る



聖教ワイド文庫

—003

池田大作

法華經の智慧

3

二十一世紀の宗教を語る

聖教新聞社

法華經の智慧 3

二十一世紀の宗教を語る

発行日 二〇〇二年三月十六日

第五刷 二〇一〇年十二月二十日

著者 池田大作

発行者 松岡 資

発行所 聖教新聞社

〒100-0001 東京都新宿区信濃町一八
電話〇三―三三三―五三六―一（大代表）

印刷・製本 大日本印刷株式会社

*

落丁・乱丁本はお取り替えいたします

©2002 D. Ikeda THE SEIKYO SHIMBUN
Printed in Japan

定価はカバーに表示してあります

ISBN978-4-412-01184-7

池田大作（いけだ・だいさく）

昭和3年（1928年）、東京生まれ。創価学会名誉会長。創価学会インタナショナル（SGI）会長。創価大学、アメリカ創価大学、創価学園、民主音楽協会、東京富士美術館、東洋哲学研究所、戸田記念国際平和研究所などを創立。世界各国の識者と知性の対話を重ね、平和、文化、教育運動を推進。モスクワ大学、グラスゴー大学、北京大学など、世界の大学・学術機関の名誉博士・名誉教授、世界の各都市の名誉市民の称号、国連平和賞をはじめ、「桂冠詩人」の称号など多数受賞。

著書は『人間革命』（全12巻）、『新・人間革命』（現22巻）、『私の世界交友録』など。対談集も『二十一世紀への対話』（A・トインビー）、『人間革命と人間の条件』（A・マルロー）、『二十世紀の精神の教訓』（M・ゴルバチョフ）、『地球対談 輝く女性の世紀へ』（H・ヘンダーソン）など多数。

目次

3 目次

見宝塔品(上)

「我が身が宝塔」と見る……

9

妙法流布の行動者こそ宝塔

見宝塔品(下)

「人間を手段にするもの」との戦い

——三変土田と六難九易……

41

提婆達多品(上)

悪人成仏——“善の勝利”の偉大な証明……

75

提婆達多品(下)

竜女成仏——大いなる「女性の人権宣言」……

103

勸持品

「弟子が師子吼」「弟子が三類の強敵と戦う」……

141

安樂行品

人類を絶対の「安樂」の境涯へ……

178

從地涌出品①

動執生疑——境涯革命への大いなる轟き……………206
 勇者の総立ちで時代に動執生疑を

從地涌出品②

「蓮華の文化史」を語る……………232
 生命の法を「蓮華」が象徴、東西文化を結ぶ「蓮華の道」

從地涌出品③

我、地涌の菩薩なり——「永遠の自己」の発見……………264
 “地涌”とは民衆の「内発の力」を開拓

索引（語句索引、御書引用索引、法華經引用索引）

聖教ワイド文庫

003

池田大作

法華經の智慧

3

二十一世紀の宗教を語る

聖教新聞社

目次

3 目次

見宝塔品(上)

「我が身が宝塔」と見る……

9

妙法流布の行動者こそ宝塔

見宝塔品(下)

「人間を手段にするもの」との戦い……

——三変土田と六難九易……

41

提婆達多品(上)

悪人成仏——“善の勝利”の偉大な証明……

75

提婆達多品(下)

竜女成仏——大いなる「女性の人権宣言」……

103

勸持品

「弟子が師子吼」「弟子が三類の強敵と戦う」……

141

安楽行品

人類を絶対の「安楽」の境涯へ……

178

從地涌出品①

動執生疑——境涯革命への大いなる轟き……………206
どうしゅうしょうぎ きょうがいかくめい ゆうしや そうだ
 勇者の総立ちで時代に動執生疑を

從地涌出品②

「蓮華の文化史」を語る……………232
れんげ かつ
 生命の法を「蓮華」が象徴、東西文化を結ぶ「蓮華の道」
しょうめいのほう れんげがしょうちよう とうせいぶんかをむす れんげのどう

從地涌出品③

我、地涌の菩薩なり——「永遠の自己」の発見……………264
われ じゆのぼさつなり——「えいえんのじこ」のはっけん
 “地涌”とは民衆の「内発の力」を開拓
“じゆ”とはみんしゅうの「ないはつちから」をかいたく

索引（語句索引、御書引用索引、法華經引用索引）

凡 例

- 一、本書は、大白蓮華連載の「法華經の智慧」（一九九六年六月～一九九七年二月）九回分をまとめた単行本を、『法華經の智慧』³』として聖教ワイド文庫に収録したものである。
- 二、御書のページ数は『新編 日蓮大聖人御書全集』（創価学会版）による。
- 三、法華經のページ数は『法華經並開結』による。
- 四、肩書、役職等については、掲載時のままにした。
- 五、巻末に、語句索引と御書、法華經からの引用文の索引を付した。

出席者

齊藤 克司
さいとう かつじ

教学部長 副会長 東京都出身

東京大学文学部卒 昭和三十二年入会

遠藤 孝紀
えんどう たかのり

副教学部長 山形県出身

慶応大学大学院修士課程修了 昭和三十年入会

須田 晴夫
すだ はるお

副教学部長 東京都出身

東京大学法学部卒 昭和三十八年入会

法華經の智慧 3

二十一世紀の宗教を語る

見宝塔品(上)

「我が身が宝塔」と見る

妙法流布の行動者こそ宝塔

(大白蓮華一九九六年六月号掲載)

齊藤教学部長 先日(一九九六年四月二十四日)は、池田先生とチャペル博士(ハワイ大学宗教学部教授、二〇〇一年アメリカ創価大学教授)との語らいに、私たち三人も同席させていただきました。ありがとうございました。

ヴォロビョヴァ博士(ロシア科学アカデミー東洋学研究所)の時もそうですが、先生の語らには「法華經の智慧」を学ぶための大切な視点が、珠玉のごとくちりばめられています。須田副教学部長 しかも、絶妙のユーモアを交えられての対話でしたので、三時間半が、あっという間でした。先生と博士は、お疲れになったと思いますが(笑い)。

遠藤副教学部長 博士を迎えた瞬間から、何ともいえない温かい雰囲気、私たちも包まれました。聖教新聞に写真が出ていましたが、先生が、すかさず、博士の手荷物の紙袋を持ってさしあげたり……。じつはその中には、先生のために用意されたハワイの写真集や書

籍が入っていました。後で博士が一点一点を紹介され、「重くてすみません」と言つて手渡すと、先生は、お礼を言われながら「知つてます。さっき持ちましたから」と（爆笑）。

池田名誉会長 よく覚えてるねー（笑い）。もっとほかに、大事な話があつたはずなんだが（大笑い）。

チャペル博士は語つておられた。法華經に基づいた「対話」こそが、人類の未来を開くカギである。法華經に基づく——というのは、あらゆる人を「宝の存在」として尊敬するということです。それが法華經であり、宝塔品です。その土台の上に、実りある「対話」もあるし、「友情」もある。「平和」もある。博士は「軍事力よりも強いのは、人間対人間の『友情』です」とも言われていました。

齊藤 法華經といい、仏法といつても、決して遠いところにあるのではない。身近な現実の「振る舞い」にあるということです。

遠藤 ジョーゼフ・キャンベルというアメリカの神話学者も「思いやりこそ根本的な宗教経験であり、もしそれが欠けていたら、もはやなんにもない」（『神話の力』飛田茂雄訳、早川書房）と言っています。

須田 そのことを、いつも先生が手本として示してくださっているのですが、我々は「す

ごいなあ」と思うだけで……（笑い）。

名誉会長

仏法も身近みぢかにある。「いま・ここ」にある。現実の生活にあり、人生にあり、

社会にある。

それを離れた、どこかに何か深遠しんえんなものがあるように見せるのは、まやかしです。

斉藤

はい。特に、後世こうせいの僧侶そうりよが自分たちを權威けんいづけるために、神秘しんぴめかして説いたとい

う側面そくめんがあります。

遠藤

仏がわかりやすく説いたものを、あえて難むずかしく説いたり（笑い）。

名誉会長

そう。これから学ぶ「見宝塔品けんぼうとうほん」も古来こらい、多くの解釈かいしゃくがあつた。それはそれと

して、その時代に意味があつた場合もあるが、日蓮大聖人は端的たんてきに、「宝塔とは我等いっしんが一身いっしんのことである」と仰おほせです。

そして宝塔ぼうたうが出現しゅつげんするとは、母の胎内たいないから生まれ出ることであるとして、「宝浄世界ほうじょうせかいとは我等が母の胎内たいないなり」（御書七四〇ジバ）、「出胎しゅつたいする処ところを涌現ゆげんと云いうなり」（御書七九七ジバ）と述のべられている。

我が身わがみが莊嚴そうごんなる宝塔である——しかし、なかなか、その真実しんじつが見えない。それを見るのが「見宝塔」であり、それを見るための「鏡かがみ」が宝塔品の儀式ぎしきなのです。また宝塔品の儀式

を用いて建立された御本尊も「明鏡」です。

身近なものです。現実なのです。この根本を押さえた上で、法華經の説法を見ていこう。

宝塔の出現

遠藤 はい。見宝塔品は、その宝塔の出現から始まります。巨大な宝塔が大地より突如と

して出現し、空中に浮かんで静止します。そして、その中から大音声が聞こえてきます。

「素晴らしい。素晴らしい。よくぞ法華經を大衆のために説いてくださった。その通りです。

その通りです。あなたが説かれたことは、すべて真実です」（法華經四〇〇節、趣意）と。

この賛嘆の声を聞いて、人々は大いに疑問をいただきます。

「こんなことは、今までなかった。いったい、どういうわけで、宝塔が大地から現れ、そ

の中から声が発せられたのだろう」

釈尊は答えます。「この宝塔の中には、多宝如来という名前の仏様がおられる。この仏様

は、かつて誓ったのです。『法華經が説かれるところがあれば、私の塔はその前に現れ、証

明役となつて、素晴らしい、素晴しいと賛嘆しよう』と。だから今、法華經が説かれるこ